

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 文法 A   |
| 科目番号         | 3901072  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 火 4  |
| 担当教員         | 今井 新悟  |
| 授業概要         | 中級の文法を学ぶ。Learn intermediate level Japanese grammar.  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるようになる。  |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキストに基づいた文法項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験   |
| 履修条件         | プレースメントテストで総合日本語 4 レベル (以上) に認定されていること。  |
| 成績評価方法       | 期末試験 30%、中間試験 30%、クイズ 40%  |
| 授業外における学習方法  | 教科書の予習・復習  |
| 教科書          | 1. 『短期集中初級日本語文法総まとめ ポイント 20』友松悦子・和栗雅子、スリーエーネットワーク、2004 年 ( <a href="http://www.3anet.co.jp/ja/1277/">http://www.3anet.co.jp/ja/1277/</a> ) |
| 参考書          | 授業内で紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | 文法項目の予習以外にも、単語を調べ、文を読む練習をするなど、積極的に自習をしてほしい。  |
| その他          | オフィスアワー:木曜 2 限 (大学会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)  |

|                  |  |
|------------------|--|
| 授業科目名            | 総合日本語 4 文法 B   |
| 科目番号             | 3901082  |
| 単位数              | 1.0 単位   |
| 標準履修年次           | 1 年次   |
| 時間割              | 秋 ABC 火 4  |
| 担当教員             | 今井 新悟  |
| 授業概要             | Learn intermediate level Japanese grammar. 中級レベルの文法を学ぶ。                              |
| 備考               | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。   |
| 授業形態             | 演習   |
| 授業の到達目標及び<br>テーマ | 初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるようになる。  |
| 授業の概要・計画         | 第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキストに基づいた文法項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験 |
| 履修条件             | プレースメントテストで総合日本語 4 レベル (以上) に認定されていること。  |
| 成績評価方法           | 期末試験 30%、中間試験 30%、小テスト 40%   |
| 授業外における学習方法      | 教科書の予習・復習をする。  |
| 教科書              | 1. The textbook will be announced when classes start.                                |
| 参考書              | 授業内で紹介する。  |
| 受講生に望むこと         | 文法項目の予習以外にも、単語を調べ、文を読む練習をするなど、積極的に自習をしてほしい。  |
| その他              | オフィスアワー:木曜 2 限 (大学会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 話す聞く A   |
| 科目番号         | 3901092  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 金 4  |
| 担当教員         | 小池 康   |
| 授業概要         | 身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表とその聞き取りができるようになる。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の文法項目を使った会話文の正確な聞き取りができるようになる。</li> <li>・発音やアクセントが聞き分け・使い分けができるようになる。</li> <li>・自分の国や身近な話題について説明したり、自分の意見を述べるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション<br>第 2~7 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 8 週 中間テスト<br>第 9~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 15 週 期末テスト  |
| 履修条件         | プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。  |
| 成績評価方法       | 中間テスト 30%、期末テスト 40%、ミニクイズ 25%、積極的な参加 10%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)  |
| 授業外における学習方法  | manaba による復習   |
| 教科書          | 1. Handouts  |
| 参考書          | 必要に応じて紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | かならず準備をしたうえで授業に来ること。   |
| その他          |  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 話す聞く B  |
| 科目番号         | 3901102   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 金 4   |
| 担当教員         | 小池 康  |
| 授業概要         | 身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表とその聞き取りができるようになる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の文法項目を使った会話文の正確な聞き取りができるようになる。</li> <li>・発音やアクセントがの聞きわけ・使い分けができるようになる。</li> <li>・自分の国や身近な話題について説明したり、自分の意見を述べるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション<br>第 2~7 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 8 週 中間テスト<br>第 9~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 15 週 期末テスト   |
| 履修条件         | プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。   |
| 成績評価方法       | 中間テスト 30%、期末テスト 40%、ミニクイズ 25%、積極的な参加 10%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | manaba による復習  |
| 教科書          | 1. Handouts   |
| 参考書          | 必要に応じて紹介する。   |
| 受講生に望むこと     | かならず準備をしたうえで授業に来ること。  |
| その他          |   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 読む書く A   |
| 科目番号         | 3901112  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 木 4  |
| 担当教員         | 中山 健一  |
| 授業概要         | よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を正しく理解する</li> <li>・文章の大切な部分を読み取る</li> <li>・文章について、理解や考えを深める</li> <li>・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える</li> <li>・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす</li> <li>・自分の読み方を振り返る</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション・レベルチェック<br>第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言ったり、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。  |
| 履修条件         | 総合日本語 3 修了レベル  |
| 成績評価方法       | 課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 毎回の予習・復習および宿題  |
| 教科書          | プリント教材   |
| 参考書          | 特になし   |
| 受講生に望むこと     | 毎回の予習・復習および宿題を提出すること。  |
| その他          |  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 読む書く B   |
| 科目番号         | 3901122  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 木 4  |
| 担当教員         | 中山 健一  |
| 授業概要         | よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を正しく理解する</li> <li>・文章の大切な部分を読み取る</li> <li>・文章について、理解や考えを深める</li> <li>・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える</li> <li>・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす</li> <li>・自分の読み方を振り返る</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック<br>第 2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言ったり、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。  |
| 履修条件         | 総合日本語 3 修了レベル  |
| 成績評価方法       | 課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 毎回の予習・復習および宿題  |
| 教科書          | プリント教材   |
| 参考書          | 特になし   |
| 受講生に望むこと     | 毎回の予習・復習および宿題を提出すること。  |
| その他          |  |

|                  |  |
|------------------|--|
| 授業科目名            | 総合日本語 5 文法 A   |
| 科目番号             | 3901132  |
| 単位数              | 1.0 単位   |
| 標準履修年次           | 1 年次   |
| 時間割              | 春 ABC 火 3  |
| 担当教員             | 今井 新悟  |
| 授業概要             | Learn intermediate level Japanese grammar. 中級レベルの文法を学ぶ。  |
| 備考               | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。   |
| 授業形態             | 演習   |
| 授業の到達目標及び<br>テーマ | 中級レベルまでの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。   |
| 授業の概要・計画         | 第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 文章の産出、理解に必要な文法の学習、第 15 週 期末テスト                                    |
| 履修条件             | 総合日本語 4 レベル修了相当の日本語力があること。総合日本語 4 レベル修了相当の文法の知識と運用力があること。  |
| 成績評価方法           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ 40%</li> <li>・中間テスト 30%</li> <li>・期末テスト 30%</li> </ul> |
| 授業外における学習方法      | 宿題 (学習した文章、文法の復習)  |
| 教科書              | 1. 『レベルアップ日本語文法中級』許明子・宮崎恵子 (2013) くろしお出版   |
| 参考書              |  |
| 受講生に望むこと         | 予習してくることを。課題を自主的に行うこと。   |
| その他              | オフィスアワー:木曜日 2 限 (大学会館 C 教員控室)  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 文法 B   |
| 科目番号         | 3901142  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 火 3  |
| 担当教員         | 今井 新悟  |
| 授業概要         | Learn intermediate level Japanese grammar. 中級レベルの文法を学ぶ。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 中級レベルまでの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。   |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 文章の産出、理解に必要な文法の学習、第 15 週 期末テスト                                    |
| 履修条件         | 総合日本語 4 レベル修了相当の日本語力があること。総合日本語 4 レベル修了相当の文法の知識と運用力があること。  |
| 成績評価方法       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ 40%</li> <li>・中間テスト 30%</li> <li>・期末テスト 30%</li> </ul> |
| 授業外における学習方法  | 予習・復習  |
| 教科書          | 1. 『レベルアップ日本語文法 中級』許明子・宮崎恵子 (2013) くろしお出版  |
| 参考書          |  |
| 受講生に望むこと     | 予習してくることを。課題を自主的に行うこと。   |
| その他          | オフィスアワー:木曜 2 限 (大学会館 C 1 階教員控室)  |



|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 話す聞く A  |
| 科目番号         | 3901152   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 金 3   |
| 担当教員         | 小池 康  |
| 授業概要         | 身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級・中級で学んだ語彙や文法項目を使って、日常生活や学習場面でよく使われる会話を正確に聞き取ることができるようになる。</li> <li>・日常生活で多用される表現を習得する。</li> <li>・自分の国や身近な話題についてくわしく説明したり、自分の意見をくわしく述べるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション<br>第 2~7 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 8 週 中間テスト<br>第 9~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 15 週 期末テスト   |
| 履修条件         | グローバルコミュニケーション教育センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。  |
| 成績評価方法       | 中間テスト 30%、期末テスト 40%、ミニクイズ 25%、積極的な参加 10%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | manaba による復習  |
| 教科書          | 1. Handouts   |
| 参考書          | 必要に応じて紹介する。   |
| 受講生に望むこと     | 事前に出された課題を準備してから授業に出ること。  |
| その他          |   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 話す聞く B  |
| 科目番号         | 3901162   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 金 3   |
| 担当教員         | 小池 康  |
| 授業概要         | 身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級・中級で学んだ語彙や文法項目を使って、日常生活や学習場面でよく使われる会話を正確に聞き取ることができるようになる。</li> <li>・日常生活で多用される表現を習得する。</li> <li>・自分の国や身近な話題についてくわしく説明したり、自分の意見をくわしく述べるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション<br>第 2~7 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 8 週 中間テスト<br>第 9~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う<br>第 15 週 期末テスト   |
| 履修条件         | グローバルコミュニケーション教育センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。  |
| 成績評価方法       | 中間テスト 40%、期末テスト 50%、積極的な参加 10%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | manaba による復習  |
| 教科書          | プリント教材<br>1. Handouts   |
| 参考書          | 必要に応じて紹介する。   |
| 受講生に望むこと     | 事前に出された課題を準備してから授業に出ること。  |
| その他          |   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 読む書く A   |
| 科目番号         | 3901172  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 木 3  |
| 担当教員         | 柳田 しのぶ   |
| 授業概要         | 身近な話からやや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を正しく理解する。</li> <li>・読んだものについて、理解、考えを深める。</li> <li>・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。</li> <li>・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第1週:授業案内(オリエンテーション)第2週~14週:新聞記事、エッセイ、物語などを読む。内容理解質問に的確に口頭、および文章で答えられるように練習をする。語彙・表現・文法・文型を豊かにしていく。読んだものに関して意見、感想を他の学習者と交換する。引用をしながら、感想文が書けるように練習する。読み物ごとにレポートを提出する。第15週:期末テスト              |
| 履修条件         | 総合日本語 4 修了レベル  |
| 成績評価方法       | 作文提出 30%、小テスト 30%、期末テスト 40%  |
| 授業外における学習方法  | 毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集  |
| 教科書          | 授業開始時に指示する。  |
| 参考書          | 授業時に紹介する   |
| 受講生に望むこと     | 授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。宿題の提出をすること。  |
| その他          | 受講者の状況により授業内容を変更することがある。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 読む書く B   |
| 科目番号         | 3901182  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 木 3  |
| 担当教員         | 柳田 しのぶ   |
| 授業概要         | 身近な話からやや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を正しく理解する。</li> <li>・読んだものについて、理解、考えを深める。</li> <li>・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。</li> <li>・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第1週:授業案内(オリエンテーション)第2週~14週:新聞記事、エッセイ、物語などを読む。内容理解質問に的確に口頭、および文章で答えられるように練習をする。語彙・表現・文法・文型を豊かにしていく。読んだものに関して意見、感想を他の学習者と交換する。引用をしながら、感想文が書けるように練習する。読み物ごとにレポートを提出する。第15週:期末テスト              |
| 履修条件         | 総合日本語 4 修了レベル  |
| 成績評価方法       | 作文提出 30%、小テスト 30%、期末テスト 40%  |
| 授業外における学習方法  | 毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集  |
| 教科書          | 授業開始時に指示する。  |
| 参考書          | 授業時に紹介する   |
| 受講生に望むこと     | 授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。宿題の提出をすること。  |
| その他          | 受講者の状況により授業内容を変更することがある。   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 1A  |
| 科目番号         | 3901192   |
| 単位数          | 4.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 火・水・木・金 4   |
| 担当教員         | 小野 正樹   |
| 授業概要         | 初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 『Situational Functional Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、ひらがなの確認<br>第2週～第7週: 『Situational Functional Japanese(学内版) 学内版』2課～4課、『NEJ vol. 1』2課～4課、カタカナの確認、中間テスト<br>第8週～第15週: 『Situational Functional Japanese(学内版)(学内版)』5課～8課、『NEJ vol. 1』5課～8課、期末テスト、プレゼンテーション |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したことがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。   |
| 成績評価方法       | 中間テスト 40% 期末テスト 40% 日常活動 20%  |
| 授業外における学習方法  | 1 各ユニット開始前 『Situational Functional Japanese Notes)』を読んでしっかり予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。  |
| 教科書          | 1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』<br>2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)   |
| 参考書          | 1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』   |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。  |
| その他          |   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 1B  |
| 科目番号         | 3901202   |
| 単位数          | 4.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 火・水・木・金 4   |
| 担当教員         | 小野 正樹   |
| 授業概要         | 初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>3901632 と同内容。   |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読め   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション『Situational Functional Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、ひらがなの確認<br>第2週～第7週:『Situational Functional Japanese(学内版)』2課～4課、『NEJ vol. 1』2課～4課、カタカナの確認、中間テスト<br>第8週～第15週:『Situational Functional Japanese(学内版)』5課～8課、『NEJ vol. 1』5課～8課、期末テスト、プレゼンテーション |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したことがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。   |
| 成績評価方法       | 中間テスト 40%<br>期末テスト 40%<br>日常点 20%   |
| 授業外における学習方法  | 1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。  |
| 教科書          | 1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』<br>2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)   |
| 参考書          | 1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』   |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。  |
| その他          |   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 2A   |
| 科目番号         | 3901212  |
| 単位数          | 4.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 火・水・木・金 2  |
| 担当教員         | 小野 正樹  |
| 授業概要         | 日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。  |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Situational Functional Japanese (学内版)』9課、『NEJ vol. 1』9課<br>第2週～第7週:『Situational Functional Japanese (学内版)』10課～12課、『NEJ vol. 1』7課～12課、中間テスト<br>第8週～第15週:『Situational Functional Japanese (学内版)』13課～16課、『NEJ vol. 2』13課～16課、期末テスト、プレゼンテーション |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること  |
| 成績評価方法       | 中間テスト 40%<br>期末テスト 40%<br>日常点 20%  |
| 授業外における学習方法  | 1 『Situational Functional Japanese Notes』を予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。  |
| 教科書          | 1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』<br>2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)   |
| 参考書          | 1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』  |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。   |
| その他          |  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 2B   |
| 科目番号         | 3901222  |
| 単位数          | 4.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 火・水・木・金 2  |
| 担当教員         | 小野 正樹  |
| 授業概要         | 日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>3901642 と同内容。  |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。  |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Situational Functional Japanese (学内版)』9課、『NEJ vol. 1』9課<br>第2週～第7週:『Situational Functional Japanese (学内版)』10課～12課、『NEJ vol. 1』7課～12課、中間テスト<br>第8週～第15週:『Situational Functional Japanese (学内版)』13課～16課、『NEJ vol. 2』13課～16課、期末テスト、プレゼンテーション |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること  |
| 成績評価方法       | 中間テスト 40%<br>期末テスト 40%<br>日常点 20%  |
| 授業外における学習方法  | 1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。   |
| 教科書          | 1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』<br>2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)   |
| 参考書          | 1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』  |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。   |
| その他          |  |



|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 3A   |
| 科目番号         | 3901232  |
| 単位数          | 4.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 火・水・木・金 3  |
| 担当教員         | 木戸 光子  |
| 授業概要         | 日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けてもらいながら、日本語・日本文化の理解を深め、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。  |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』17 課、『NEJ vol. 2』17 課<br>第2週～第7週:『Basic Japanese(学内版)』18 課～20 課、『NEJ vol. 2』A、中間テスト<br>第8週～第15週:『Basic Japanese(学内版)』21 課～24 課、『NEJ vol. 2』21 課～24 課、期末テスト、プレゼンテーション  |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語2 修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること   |
| 成績評価方法       | 作文 10%<br>スキット 10%<br>プレゼンテーション 10%<br>ユニットクイズ 15%<br>中間テスト 15%<br>期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 1 各ユニット開始前にマスターテキストをしっかりと予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。   |
| 教科書          | 1. 『初級日本語 Basic Japanese(in house ed.) Lesson17-Lesson24<br>2. 『NEJ:A New Approach to Elementary Japanese テーマで学ぶ基礎日本語』西口光一、くろしお出版、2012 年 ( <a href="http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html">http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html</a> )<br>3. 『SFJ:Situational Functional Japanese Volume 3: Notes』(English version) 筑波ランゲージグループ、凡人社、1992 年 |
| 参考書          | 1. 『わくわく文法リスニング 99 ワークシート 新装版 CD 付』小林典子他、凡人社、2010 年  |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。   |
| その他          | オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分(大会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 3B  |
| 科目番号         | 3901242   |
| 単位数          | 4.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 火・水・木・金 3   |
| 担当教員         | 木戸 光子   |
| 授業概要         | 日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。  |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』17 課、『NEJ vol. 2』17 課<br>第2週～第7週:『Basic Japanese(学内版)』18 課～20 課、『NEJ vol. 2』A、中間テスト<br>第8週～第15週:『Basic Japanese(学内版)』21 課～24 課、『NEJ vol. 2』21 課～24 課、期末テスト、プレゼンテーション   |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語2 修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること  |
| 成績評価方法       | 作文 10%<br>スキット 10%<br>プレゼンテーション 10%<br>ユニットクイズ 15%<br>中間テスト 15%<br>期末テスト 40%  |
| 授業外における学習方法  | 1 各ユニット開始前にマスターテキストをしっかりと予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。  |
| 教科書          | 1. 『初級日本語 Basic Japanese(in house ed.) Lesson17-Lesson24』<br>2. 『NEJ:A New Approach to Elementary Japanese テーマで学ぶ基礎日本語』西口光一、くろしお出版、2012 年 ( <a href="http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html">http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html</a> )<br>3. 『SFJ:Situational Functional Japanese Volume 3: Notes』(English version) 筑波ランゲージグループ、凡人社、1992 年 |
| 参考書          | 1. 『わくわく文法リスニング 99 ワークシート 新装版 CD 付』小林典子他、凡人社、2010 年   |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。  |
| その他          | オフィスアワー:木曜 15 時 15 分～16 時 30 分(大会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 演習 A  |
| 科目番号         | 3901252   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 水 4   |
| 担当教員         | 小林 真紀子  |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 授業の概要・計画     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室外で出会った言葉についての紹介する。</li> <li>・テーマに沿ってディスカッションする。</li> <li>・興味があるテーマについて日本語でインタビューし、結果をクラスで共有する。</li> <li>・調べたことについてまとめ、発表する。</li> </ul> <p>第 1 回オリエンテーション、口頭レベルチェックをする</p> |
| 履修条件         | 総合日本語 4 レベル   |
| 成績評価方法       | <p>中間口頭発表・最終口頭発表 50%</p> <p>課題・提出物 30%</p> <p>クラス参加度 20%</p>  |
| 授業外における学習方法  | 必要な情報収集のための準備   |
| 教科書          | プリントを配布する   |
| 参考書          |   |
| 受講生に望むこと     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 課題は必ず期日内に提出すること</li> <li>2) 授業には必ず辞書を持ってくること</li> <li>3) 他の学生との協働作業に積極的に取り組むこと</li> <li>4) 授業外でも積極的に日本語を使ってほしい。</li> </ol>  |
| その他          | 場合によって manaba を使う。受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 4 演習 B  |
| 科目番号         | 3901262   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 水 4   |
| 担当教員         | 小林 真紀子  |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 授業の概要・計画     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室外で出会った言葉について紹介する。</li> <li>・テーマに沿ってディスカッションする。</li> <li>・興味があるテーマについて日本語でインタビューし、結果をクラスで共有する。</li> <li>・調べたことについてまとめ、発表する</li> </ul> <p>第 1 回オリエンテーション、口頭レベルチェックをする</p> |
| 履修条件         | 総合日本語 4 レベル   |
| 成績評価方法       | <p>最終口頭発表 50%</p> <p>課題・提出物 30%</p> <p>クラス参加度 20%</p>   |
| 授業外における学習方法  | 必要な情報収集のための準備   |
| 教科書          | プリントを配布する   |
| 参考書          |   |
| 受講生に望むこと     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 課題は必ず期日内に提出すること</li> <li>2) 授業には必ず辞書を持ってくること</li> <li>3) 他の学生との協働作業に積極的に取り組むこと</li> <li>4) 授業外でも積極的に日本語を使ってほしい。</li> </ol>  |
| その他          | 場合によって、manaba を使う。 受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 演習 A   |
| 科目番号         | 3901272  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 水 3  |
| 担当教員         | 長戸 三成子   |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。<br>日本文化に関する理解を深め、与えられたテーマについて調査したことをもとに、日本語で発表できるようにする。 |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション 第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>ミニ発表 3 回、最終発表 1 回<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。                 |
| 履修条件         | 総合日本語 5 レベル  |
| 成績評価方法       | 授業参加 15%<br>ミニ発表 (3 回) 45%<br>最終発表 40%   |
| 授業外における学習方法  | テキストを読んでくる。<br>必要な情報収集を行う。   |
| 教科書          | 以下のテキストを購入してください。<br>1. 佐々木薫・赤木浩文・安藤節子・草野宗子・田口典子 編著、『トピックによる日本語総合演習:テーマ探しから発表へ(中級前期)』(スリーエーネットワーク)       |
| 参考書          | 必要時に紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | 1) 課題は必ず期日内に提出すること<br>2) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること<br>3) 授業内外で積極的に日本語を使うこと                                   |
| その他          | 受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 5 演習 B   |
| 科目番号         | 3901282  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 水 3  |
| 担当教員         | 長戸 三成子   |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。<br>日本文化に関する理解を深め、与えられたテーマについて調査したことをもとに、日本語で発表できるようにする。 |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション 第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>ミニ発表(3 回)、最終発表 1 回<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。                |
| 履修条件         | 総合日本語 5 レベル  |
| 成績評価方法       | 授業参加 15%<br>ミニ発表(3 回) 45%<br>最終発表 40%  |
| 授業外における学習方法  | テキストを読んでくる。<br>必要な情報収集を行う。   |
| 教科書          | 以下のテキストを購入してください。<br>1. 佐々木薫・赤木浩文・安藤節子・草野宗子・田口典子 編著、『トピックによる日本語総合演習:テーマ探しから発表へ(中級前期)』(スリーエーネットワーク)       |
| 参考書          | 必要時に紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | 1) 課題は必ず期日内に提出すること<br>2) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること<br>3) 授業内外でも積極的に日本語を使うこと                                  |
| その他          | 受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 文法 A   |
| 科目番号         | 3901292  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 火 2  |
| 担当教員         | 平形 裕紀子   |
| 授業概要         | 中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 中級後半レベルの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解などが正確にできるようになる。                                       |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 教科書 13 課~24 課を学習(各課終了後クイズ)、第 8 週 中間テスト、第 15 週 期末テスト |
| 履修条件         | 総合日本語 5 レベルが終わったぐらいの日本語力があること。5 レベル終わったぐらいの文法の知識と運用力があること。                           |
| 成績評価方法       | 各課クイズ 30%、中間テスト 35% 期末テスト 35%  |
| 授業外における学習方法  | 次週の学習項目の予習と、学習した文型・文章の復習   |
| 教科書          | 『レベルアップ日本語文法』許明子、宮崎恵子著 くろしお出版  |
| 参考書          | 授業内で紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | 授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。   |
| その他          | 受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 文法 B  |
| 科目番号         | 3901302   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 火 2   |
| 担当教員         | 平形 裕紀子  |
| 授業概要         | 中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 中級後半レベルの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解などが正確にできるようになる。  |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 教科書 13 課~24 課を学習 (各課終了後クイズ)、第 8 週 中間テスト、第 15 週 期末テスト |
| 履修条件         | 総合日本語 5 レベルが終わったぐらいの日本語力があること。5 レベル終わったぐらいの文法の知識と運用力があること。                            |
| 成績評価方法       | 各課クイズ 30%、中間テスト 35%、期末テスト 35%   |
| 授業外における学習方法  | 次週の学習課の予習と、授業で学習した項目の復習   |
| 教科書          | 『レベルアップ日本語文法』許明子、宮崎恵子著 くろしお出版   |
| 参考書          | 授業内で紹介する。   |
| 受講生に望むこと     | 授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。  |
| その他          | 受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。   |



|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 話す聞く A  |
| 科目番号         | 3901312   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 金 2   |
| 担当教員         | 堀 恵子  |
| 授業概要         | やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。また対人関係に基づく表現を正確に使えるようになる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。</li> <li>・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。</li> <li>・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。</li> <li>・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。  |
| 履修条件         | 総合日本語 5 を終わったレベル  |
| 成績評価方法       | manaba による宿題提出 (10%), ディクテーション (10%), インタビュー発表 (40%), 期末テスト (40%)<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)  |
| 授業外における学習方法  | manaba を利用した予習と宿題   |
| 教科書          | 1. 配付資料   |
| 参考書          |   |
| 受講生に望むこと     | 積極的に、自主的に準備、課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語を使ってほしい。授業以外にも積極的にテレビやラジオを聞く努力をしてほしい。  |
| その他          | 受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応していく。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 話す聞く B  |
| 科目番号         | 3901322   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 金 2   |
| 担当教員         | 堀 恵子  |
| 授業概要         | やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。また対人関係に基づく表現を正確に使えるようになる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。</li> <li>・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。</li> <li>・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。</li> <li>・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。  |
| 履修条件         | 総合日本語 5 を終わったレベル  |
| 成績評価方法       | manaba による宿題提出 (10%), ディクテーション (10%), インタビュー発表 (40%), 期末テスト (40%)<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)  |
| 授業外における学習方法  | manaba を利用した予習と宿題   |
| 教科書          | 1. 配付資料   |
| 参考書          | 必要時に紹介する  |
| 受講生に望むこと     | 積極的に、自主的に準備、課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語を使ってほしい。授業以外にも積極的にテレビやラジオを聞く努力をしてほしい。  |
| その他          | 受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応していく。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 読む書く A   |
| 科目番号         | 3901332  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 木 2  |
| 担当教員         | 中山 健一  |
| 授業概要         | やや専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事、エッセイ、物語などの文章の内容を正しく理解できる。</li> <li>・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に伝えることができる。</li> <li>・書くために必要な語彙・表現・文型を学び、使えるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション、レベルチェック 第 2~14 週:読解と内容理解質問、書くための語彙・表現・文型の練習、作文練習 第 15 週:期末テスト(筆記テストと作文)  |
| 履修条件         | 社会的なテーマに関する文章を読んで理解できる程度の読解力と、それを表現できる作文力と漢字・語彙力が必要。日本語能力検定 N2 レベル程度。  |
| 成績評価方法       | 課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 読み物についての理解を深めるため、各自で背景知識について情報収集することが望ましい。   |
| 教科書          | プリント教材   |
| 参考書          | なし   |
| 受講生に望むこと     | 課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。   |
| その他          |  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 読む書く B   |
| 科目番号         | 3901342  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 木 2  |
| 担当教員         | 中山 健一  |
| 授業概要         | やや専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事、エッセイ、物語などの文章の内容を正しく理解できる。</li> <li>・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に伝えることができる。</li> <li>・書くために必要な語彙・表現・文型を学び、使えるようになる。</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション、レベルチェック 第 2~14 週:読解と内容理解質問、書くための語彙・表現・文型の練習、作文練習 第 15 週:期末テスト(筆記テストと作文)  |
| 履修条件         | 社会的なテーマに関する文章を読んで理解できる程度の読解力と、それを表現できる作文力と漢字・語彙力が必要。日本語能力検定 N2 レベル程度。  |
| 成績評価方法       | 課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 読み物についての理解を深めるため、各自で背景知識について情報収集することが望ましい。   |
| 教科書          | プリント教材   |
| 参考書          | なし   |
| 受講生に望むこと     | 課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。   |
| その他          |  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 演習 A  |
| 科目番号         | 3901352   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 水 2   |
| 担当教員         | ブッシュネル ケード コンラン   |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション 第 2~10 週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。                           |
| 履修条件         | 総合日本語 6 レベル   |
| 成績評価方法       | ディスカッションやディベートへの参加度 (12.5 × 4)50%、発表 (25 × 2)50%  |
| 授業外における学習方法  | 必要な情報収集を行う。   |
| 教科書          |   |
| 参考書          | 必要時に紹介する。   |
| 受講生に望むこと     | 1) 課題は必ず期日内に準備すること<br>2) 授業には必ず辞書を持ってくること<br>3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること<br>4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと |
| その他          | 受講生の人数などによって一部授業内容を変更することがある。   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 6 演習 B  |
| 科目番号         | 3901362   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 水 2   |
| 担当教員         | ブッシュネル ケード コンラン   |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。  |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション 第 2~10 週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。                           |
| 履修条件         | 総合日本語 6 レベル   |
| 成績評価方法       | ディスカッションやディベートへの参加度 (12.5 × 4)50%、発表 (25 × 2)50%  |
| 授業外における学習方法  | 必要な情報収集を行う。   |
| 教科書          |   |
| 参考書          | 必要時に紹介する。   |
| 受講生に望むこと     | 1) 課題は必ず期日内に準備すること<br>2) 授業には必ず辞書を持ってくること<br>3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること<br>4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと |
| その他          | 受講生の人数などによって一部授業内容を変更することがある。   |

|                  |   |
|------------------|---|
| 授業科目名            | 総合日本語 7 文法 A  |
| 科目番号             | 3901372   |
| 単位数              | 1.0 単位  |
| 標準履修年次           | 1 年次  |
| 時間割              | 春 ABC 火 1   |
| 担当教員             | 平形 裕紀子  |
| 授業概要             | 上級レベルの文法を学び、使えるようになる。   |
| 備考               | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態             | 演習  |
| 授業の到達目標及び<br>テーマ | 中級レベルまでの文法項目を確実にマスターし、日本語での作文および読解が正確に<br>できるようになる。   |
| 授業の概要・計画         | 第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキスト中から 4 課を選択<br>して学習 (授業初日のレベルチェックの結果で選択) 各課終了後にクイズを実施、第 8<br>週:中間試験、第 15 週:期末試験 |
| 履修条件             | ブレースメントテストで総合日本語 7 レベルに認定されていること。   |
| 成績評価方法           | 中間試験 30%、期末試験 40%、宿題実施 10%、クイズ 20%  |
| 授業外における学習方<br>法  | 教科書と練習問題プリントの予習・復習  |
| 教科書              | 1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen + tax)   |
| 参考書              | 授業内で紹介する。   |
| 受講生に望むこと         | 積極的に自習をすること。  |
| その他              | ブレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けること。  |

|                  |   |
|------------------|---|
| 授業科目名            | 総合日本語 7 文法 B  |
| 科目番号             | 3901382   |
| 単位数              | 1.0 単位  |
| 標準履修年次           | 1 年次  |
| 時間割              | 秋 ABC 火 1   |
| 担当教員             | 平形 裕紀子  |
| 授業概要             | 上級レベルの文法を学び、使えるようになる。   |
| 備考               | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態             | 演習  |
| 授業の到達目標及び<br>テーマ | 中級レベルまでの文法項目を確実にマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。   |
| 授業の概要・計画         | 第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキスト中から 4 課を選択して学習 (授業初日のレベルチェックの結果で選択) 各課終了後クイズを実施、第 8 週:中間試験、第 15 週:期末試験 |
| 履修条件             | ブレースメントテストで総合日本語 7 レベルに認定されていること。   |
| 成績評価方法           | 中間試験 30%、期末試験 40%、宿題実施 10%、クイズ平均 20%  |
| 授業外における学習方法      | 教科書と練習問題プリントの予習・復習  |
| 教科書              | 1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen + tax)   |
| 参考書              | 授業内で紹介する。   |
| 受講生に望むこと         | 積極的に自習をすること。  |
| その他              | ブレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けること。  |



|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 7 話す聞く A   |
| 科目番号         | 3901392  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 金 1  |
| 担当教員         | 酒井 たか子   |
| 授業概要         | 社会、文化に関する話題について、その内容を理解する。内容をまとめ、それについて自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 様々な社会、文化に関する話題を通して、その背景を知るとともに、聞く能力を向上させる。<br>分かりやすく魅力的に話す力を養う。  |
| 授業の概要・計画     | 第 1 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 1<br>第 2 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 2<br>第 3 回聴解中心<br>ニュース 落語 1<br>第 4 回聴解中心<br>ニュース 落語 2<br>第 5 回中間テスト<br>第 6 回会話中心<br>第一回スピーチ準備<br>第 7 回会話中心<br>第一回スピーチ<br>第 8 回聴解中心<br>ニュース 科学番組<br>第 9 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 1<br>第 10 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 2<br>第 11 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 3<br>第 12 回期末テスト<br>第二回スピーチ準備 (1)<br>第 13 回期末テスト返却<br>第二回スピーチ準備 (2)<br>第 14 回会話中心<br>第二回スピーチ |
| 履修条件         | 総合日本語 7 以上<br>出席が 70% 以上できること  |
| 成績評価方法       | 中間試験 30% 中間発表 20% 期末試験 30%、期末発表 20%<br>70% 以上出席し、課題をすべて行うこと。   |
| 授業外における学習方法  | 毎回 1~2 時間程度の授業準備が必要。<br>manaba で宿題を課すので、事前に準備してから授業に臨むこと。宿題は各自プリントしたものを持ってくること   |

|          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 教科書      | 1. Handouts                          |
| 参考書      | なし                                   |
| 受講生に望むこと | クラスでは協働学習を取り入れるので、積極的な参加を望む。         |
| その他      | 受講者の関心やニーズに合わせて、授業で取り扱う課題は柔軟に対応していく。 |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 7 話す聞く B   |
| 科目番号         | 3901402  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 金 1  |
| 担当教員         | 酒井 たか子   |
| 授業概要         | 社会、文化に関する話題について、その内容を理解する。内容をまとめ、それについて自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 様々な社会、文化に関する話題を通して、その背景を知るとともに、聞く能力を向上させる。<br>分かりやすく魅力的に話す力を養う。  |
| 授業の概要・計画     | 第 1 回オリエンテーション<br>レベルチェックテスト<br>第 2 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 1<br>第 3 回聴解中心<br>ニュース ドラマ 2<br>第 4 回聴解中心<br>ニュース 落語 1<br>第 5 回聴解中心<br>ニュース 落語 2<br>第 6 回中間テスト<br>第 7 回会話中心<br>第一回スピーチ準備<br>第 8 回会話中心<br>第一回スピーチ<br>第 9 回聴解中心<br>ニュース 科学番組<br>第 10 回聴解中心<br>ニュース ドキュメンタリー番組 1<br>第 11 回聴解中心<br>ニュース ドキュメンタリー番組 2<br>第 12 回聴解中心<br>ニュース ドキュメンタリー番組 3<br>第 13 回期末テスト<br>第二回スピーチ準備 (1)<br>第 14 回期末テスト返却<br>第二回スピーチ準備 (2)<br>第 15 回会話中心<br>第二回スピーチ |
| 履修条件         | 総合日本語 7 以上<br>出席が 70% 以上できること  |
| 成績評価方法       | 中間試験 30% 中間発表 20% 期末試験 30%、期末発表 20%<br>70% 以上出席し、課題をすべて行うこと。   |

|             |  |
|-------------|--|
| 授業外における学習方法 | 毎回 1~2 時間程度の授業準備が必要。<br>manaba で宿題を課すので、事前に準備してから授業に臨むこと。宿題は各自プリントしたものを持ってくること |
| 教科書         | 1. Handouts  |
| 参考書         | なし   |
| 受講生に望むこと    | クラスでは協働学習を取り入れるので、積極的な参加を望む。   |
| その他         | 受講者の関心やニーズに合わせて、授業で取り扱う課題は柔軟に対応していく。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 7 読む書く A   |
| 科目番号         | 3901412  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 木 1  |
| 担当教員         | 荒井 未有  |
| 授業概要         | 専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事などを読み、構成や内容を理解して適切な要約ができる</li> <li>・物語、エッセイなどを読んで、その内容に基づく小論文や意見文が書ける</li> <li>・読み手を意識した分かりやすい構成の文章が書ける</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | <p>第 1 週:オリエンテーション、レベルチェック</p> <p>第 2~14 週:要約、読解(内容理解問題)、表現練習、作文練習、中間テスト</p> <p>第 15 週:期末テスト(筆記テストと小論文)</p>  |
| 履修条件         | <p>日本語の新聞記事を読める程度の読解力と、それを表現できる作文力、漢字・語彙力が必要。</p> <p>日本語能力試験 N1 レベルが望ましい。</p>  |
| 成績評価方法       | 課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 毎回の予習・復習、宿題提出、読み物の背景知識に関する情報収集   |
| 教科書          | 授業開始時に指示する。  |
| 参考書          | 授業時に紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | 課題作文は宿題として提出されるので、必ず提出してほしい。授業ではペア/グループワークの活動を取り入れるので積極的に参加してほしい。  |
| その他          | 受講者の状況により授業内容を変更することがある。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 7 読む書く B   |
| 科目番号         | 3901422  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 木 1  |
| 担当教員         | 荒井 未有  |
| 授業概要         | 専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事などを読み、構成や内容を理解して適切な要約ができる</li> <li>・物語、エッセイなどを読んで、その内容に基づく小論文や意見文が書ける</li> <li>・読み手を意識した分かりやすい構成の文章が書ける</li> </ul> |
| 授業の概要・計画     | <p>第 1 週:オリエンテーション、レベルチェック</p> <p>第 2~14 週:要約、読解(内容理解問題)、表現練習、作文練習、中間テスト</p> <p>第 15 週:期末テスト(筆記テストと小論文)</p>  |
| 履修条件         | <p>日本語の新聞記事を読める程度の読解力と、それを表現できる作文力、漢字・語彙力が必要。</p> <p>日本語能力試験 N1 レベルが望ましい。</p>  |
| 成績評価方法       | 課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%   |
| 授業外における学習方法  | 毎回の予習・復習、宿題提出、読み物の背景知識に関する情報収集   |
| 教科書          | 授業開始時に指示する。  |
| 参考書          | 授業時に紹介する。  |
| 受講生に望むこと     | 課題作文は宿題として提出されるので、必ず提出してほしい。授業ではペア/グループワークの活動を取り入れるので積極的に参加してほしい。  |
| その他          | 受講者の状況により授業内容を変更することがある。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 7 演習 A                                     |
| 科目番号         | 3901432  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 水 1  |
| 担当教員         | 山田 野絵  |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。 |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。                       |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、日本語口頭運用力を高める。   |
| 授業の概要・計画     | 日本社会に役立つ企画を立案するプロジェクトワークを行う。企画提案をするために効果的な発表を行う。 |
| 履修条件         | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。日本語能力試験 N1 程度          |
| 成績評価方法       | 授業への取り組み 30%, 口頭表現課題 50%, 文章表現課題 20%             |
| 授業外における学習方法  | 企画立案のための資料集めや発表準備等                               |
| 教科書          |  |
| 参考書          |  |
| 受講生に望むこと     | 課題は基本的にグループワークで行うため、積極的、協力的な態度で参加すること            |
| その他          | 場合によって筑波大学 manaba を使う。                           |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 総合日本語 7 演習 B                                     |
| 科目番号         | 3901442  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 水 1  |
| 担当教員         | 山田 野絵  |
| 授業概要         | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。 |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。                       |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、日本語口頭運用力を高める。   |
| 授業の概要・計画     | 日本社会に役立つ企画を立案するプロジェクトワークを行う。企画提案をするために効果的な発表を行う。 |
| 履修条件         | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。日本語能力試験 N1 程度          |
| 成績評価方法       | 授業への取り組み 30%, 口頭表現課題 50%, 文章表現課題 20%             |
| 授業外における学習方法  | 企画立案のための資料集めや発表準備等                               |
| 教科書          |  |
| 参考書          |  |
| 受講生に望むこと     | 課題は基本的にグループワークで行うため、積極的、協力的な態度で参加すること            |
| その他          | 場合によって筑波大学 manaba を使う。                           |



|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 様々な日本語 IA  |
| 科目番号         | 3901452  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 月 5  |
| 担当教員         | 石田 麻実  |
| 授業概要         | 方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 方言をはじめ、男女・世代、立場・キャラクターによる表現・ことばなど、日本語のバリエーションに触れる。川柳などを通して日本語のリズムを楽しむ。<br>日本語に対する知識を深める。   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。<br>課題、成果物提出、クイズあり。<br>「旅行で役に立つ方言集」を作成する。グループで調べた方言についても発表する。<br>ドラマ、アニメを使用することもある。 |
| 履修条件         | 総合日本語 4、5 レベルの学生   |
| 成績評価方法       | 成果物の完成度(発表を含む) 30%、クイズ 30%、課題(宿題)30%<br>積極的な取り組み 10%<br>(ただし、70%以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | 宿題(予習・復習)  |
| 教科書          | 1. Handouts  |
| 参考書          | 必要時に紹介する   |
| 受講生に望むこと     | ・自主的に調べ、課題を遂行することを期待するため、受講生には柔軟性を持ち、積極的に課題に取り組んでほしい。<br>・グループワークにおいても自主的に、積極的に、協調性をもって取り組んでほしい。<br>・教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。                         |
| その他          | ・受講希望者は第1回目の授業に出席すること。<br>・受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。<br>・毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。  |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | 様々な日本語 IB  |
| 科目番号         | 3901462  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 月 5  |
| 担当教員         | 石田 麻実  |
| 授業概要         | 方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 方言をはじめ、男女・世代、立場・キャラクターによる表現・ことばなど、日本語のバリエーションに触れる。川柳などを通して日本語のリズムを楽しむ。<br>日本語に対する知識を深める。   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。<br>課題、成果物提出、クイズあり。<br>「(旅行で役に立つ)方言集」を作成する。グループで調べた方言についても発表する。<br>ドラマ、アニメを使用することもある。                                     |
| 履修条件         | 総合日本語 4、5 レベルの学生   |
| 成績評価方法       | 成果物の完成度(発表を含む) 30%、クイズ 30% 課題(宿題)30%<br>積極的な取り組み 10%<br>(ただし、70%以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | 宿題(予習・復習)  |
| 教科書          | 1. Handouts  |
| 参考書          | 必要時に紹介する   |
| 受講生に望むこと     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に調べ、課題を遂行することを期待するため、受講生には柔軟性を持ち、積極的に課題に取り組んでほしい。</li> <li>・グループワークにおいても自主的に、積極的に、協調性をもって取り組んでほしい。</li> <li>・教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。</li> </ul> |
| その他          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講希望者は第1回目の授業に出席すること。</li> <li>・受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。</li> <li>・毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。</li> </ul>                            |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 様々な日本語 IIA  |
| 科目番号         | 3901472   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 月 5   |
| 担当教員         | 小野 正樹   |
| 授業概要         | 様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日本語の古語の語彙、文法、音声、そして方言から、現代日本語に対する知識を深めると同時に、自国の言語についても理解を進める。   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>課題提出、テストあり。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。  |
| 履修条件         | 総合日本語 6、7 レベルの学生  |
| 成績評価方法       | 最終レポート 80% 積極的な取り組み 20%<br>(ただし、70%以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | 予習・復習をする  |
| 教科書          | 1. Handouts will be given out.  |
| 参考書          | 佐治敬三・真田信治監修(1996)『日本語教師養成シリーズ 日本語と社会』、東京法令出版<br>益岡隆志編(2011)『はじめて学ぶ日本語学 言葉の奥深さを知る 15章』、ミネルヴァ書房<br>宮地裕編(2010)『日本語と日本語教育のための日本語学入門』、明治書院 |
| 受講生に望むこと     | 積極的に課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。   |
| その他          | 受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルしておくこと。  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 様々な日本語 IIB  |
| 科目番号         | 3901482   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 月 5   |
| 担当教員         | 小野 正樹   |
| 授業概要         | 様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深める。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日本語の古語の語彙、文法、音声、そして方言から、現代日本語に対する知識を深めると同時に、自国の言語についても理解を進める。   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。<br>課題提出、テストあり。<br>初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。  |
| 履修条件         | 総合日本語 6、7 レベルの学生  |
| 成績評価方法       | 最終レポート 80% 積極的な取り組み 20%<br>(ただし、70%以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | 予習・復習をする  |
| 教科書          | 1. Handouts will be given out.  |
| 参考書          | 佐治敬三・真田信治監修(1996)『日本語教師養成シリーズ 日本語と社会』、東京法令出版<br>益岡隆志編(2011)『はじめて学ぶ日本語学 言葉の奥深さを知る 15章』、ミネルヴァ書房<br>宮地裕編(2010)『日本語と日本語教育のための日本語学入門』、明治書院 |
| 受講生に望むこと     | 積極的に課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。   |
| その他          | 受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルしておくこと。  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 制作日本語 IA  |
| 科目番号         | 3901532   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 火 5   |
| 担当教員         | ブッシュネル ケード コンラン   |
| 授業概要         | 表現を増やすことを目的とする。各自の興味ある分野や専門分野についての表現を学ぶ。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 制作日本語 I では日本の昔話や怪談などを通して、まとまったストーリーを読んで理解し、それを音声に気を付けて朗読できるようになり、そして最終的にそれに基づいた短編映画 (10 分前後) を作成することを目指す。                                   |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション・自己紹介、第 2~5 週:日本の昔話や怪談などを読んだりする、第 6~10 週:グループ別に選ぶものを紹介する、第 11~15 週:グループで選んだ話に基づいたストーリーを準備し、練習を重ね、短編映画 (10 分前後) を作る。最後に上映会をする |
| 履修条件         | 総合日本語 4,5 レベル   |
| 成績評価方法       | 授業参加態度 30% 成果物 40% 課題 30%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)  |
| 授業外における学習方法  | 分からない言葉を調べる、自国の物語を分かりやすい日本語にする  |
| 教科書          | 1. Handouts   |
| 参考書          | 特になし  |
| 受講生に望むこと     | グループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること   |
| その他          | *受講希望者は第 1 週に必ず出席すること<br>*授業内容は受講者の人数・レベルにより変更の可能性あり  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 制作日本語 IB  |
| 科目番号         | 3901542   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 火 5   |
| 担当教員         | ブッシュネル ケード コンラン   |
| 授業概要         | 表現を増やすことを目的とする。各自の興味ある分野や専門分野についての表現を学ぶ。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 制作日本語 I では日本の昔話や怪談などを通して、まとまったストーリーを読んで理解し、それを音声に気を付けて朗読できるようになり、そして最終的にそれに基づいた短編映画 (10 分前後) を作成することを目指す。                                   |
| 授業の概要・計画     | 第 1 週:オリエンテーション・自己紹介、第 2~5 週:日本の昔話や怪談などを讀んだりする、第 6~10 週:グループ別に選ぶものを紹介する、第 11~15 週:グループで選んだ話に基づいたストーリーを準備し、練習を重ね、短編映画 (10 分前後) を作る。最後に上映会をする |
| 履修条件         | 総合日本語 4,5 レベル   |
| 成績評価方法       | 授業参加態度 30% 成果物 40% 課題 30%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)  |
| 授業外における学習方法  | 分からない言葉を調べる、自国の物語を分かりやすい日本語にする  |
| 教科書          | 1. Handouts   |
| 参考書          | 特になし  |
| 受講生に望むこと     | グループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること   |
| その他          | *受講希望者は第 1 週に必ず出席すること<br>*授業内容は受講者の人数・レベルにより変更の可能性あり  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 制作日本語 IIA   |
| 科目番号         | 3901552   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 木 5   |
| 担当教員         | 柳田 しのぶ  |
| 授業概要         | 日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。                                    |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につけ、それらを使用できるようになる。                                     |
| 授業の概要・計画     | 第1週(レベルチェック・オリエンテーション)、第2~6週(基礎練習・実践練習)、第7週(中間発表)、第8週(中間発表のフィードバック)、第9週~14週(台本の作成と実践練習)、第15週(最終発表)                |
| 履修条件         | 総合日本語 6,7 レベル   |
| 成績評価方法       | クラス活動 20%、レポート(台本)20%、中間発表 20%、期末発表 40%   |
| 授業外における学習方法  | 1 発声・実技練習のためのテキスト(台本)を読む :個人活動<br>2 実技のためのレポート(台本)の作成 :グループ活動<br>3 台本を熟読し、役の気持ちを理解する :個人活動<br>4 グループごとの練習 :グループ活動 |
| 教科書          | 1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)  |
| 参考書          | なし  |
| 受講生に望むこと     | グループワークが主体の授業になるのですべての授業に出席できることが望ましい。  |
| その他          | なし  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 制作日本語 IIB   |
| 科目番号         | 3901562   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 木 5   |
| 担当教員         | 柳田 しのぶ  |
| 授業概要         | 日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。                                    |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につけ、それらを使用できるようになる。                                     |
| 授業の概要・計画     | 第1週(レベルチェック・オリエンテーション)、第2~6週(基礎練習・実践練習)、第7週(中間発表)、第8週(中間発表のフィードバック)、第9週~14週(台本の作成と実践練習)、第15週(最終発表)                |
| 履修条件         | 総合日本語 6,7 レベル   |
| 成績評価方法       | クラス活動 20%、レポート(台本)20%、中間発表 20%、期末発表 40%   |
| 授業外における学習方法  | 1 発声・実技練習のためのテキスト(台本)を読む :個人活動<br>2 実技のためのレポート(台本)の作成 :グループ活動<br>3 台本を熟読し、役の気持ちを理解する :個人活動<br>4 グループごとの練習 :グループ活動 |
| 教科書          | 1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)  |
| 参考書          | なし  |
| 受講生に望むこと     | グループワークが主体の授業になるのですべての授業に出席できることが望ましい。  |
| その他          | なし  |



|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | フィールドワーク日本語 A  |
| 科目番号         | 3901572  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 春 ABC 水 5  |
| 担当教員         | 平形 裕紀子   |
| 授業概要         | 生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表する。 |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。  |
| 授業の概要・計画     | 身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。             |
| 履修条件         | 総合日本語レベル 2、3 の日本語力のあること。   |
| 成績評価方法       | 授業参加態度 40% 成果物 40% 課題 20%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | 語彙採集、発表準備、用語集作成等   |
| 教科書          | 特になし   |
| 参考書          | 特になし   |
| 受講生に望むこと     | 言葉に興味があり、特にグループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること   |
| その他          | ・授業内容は、学習者によって柔軟に対応。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | フィールドワーク日本語 B  |
| 科目番号         | 3901582  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 水 5  |
| 担当教員         | 平形 裕紀子   |
| 授業概要         | 生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表する。 |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。   |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | 生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。  |
| 授業の概要・計画     | 身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。             |
| 履修条件         | 総合日本語レベル 2、3 の日本語力のあること。   |
| 成績評価方法       | 授業参加態度 40% 成果物 40% 課題 20%<br>(ただし、70% 以上の出席率が必要)   |
| 授業外における学習方法  | 語彙採集、発表準備、用語集作成等   |
| 教科書          |  |
| 参考書          |  |
| 受講生に望むこと     | 言葉に興味があり、特にグループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること   |
| その他          | ・授業内容は、学習者によって柔軟に対応  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | プロジェクトワーク日本語 A  |
| 科目番号         | 3901592   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 金 5   |
| 担当教員         | 関口 美緒   |
| 授業概要         | 各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日本についてより知るために、身近にある文化・言語変容について日本と母国を比較・分析し、その変化過程や理由を考える。また、実際に日本文化体験もおこなう。   |
| 授業の概要・計画     | 初回(1~2回)で文化変容(accutulation)・言語変容(ピジン・クレオール)など概論を説明し、身近かな話題の例を紹介する。前半5回は日本と国の文化変容について考え意見交換し、ポスター(またはPPT)発表する。後半5回は日本と国の言語変容について考える。最後4回で公開発表用のビデオ(ポスター等)を作成し、多くの例を文書にまとめて小冊子を作成したい。また、実際の文化体験を通して、日本文化を肌で感じる。 |
| 履修条件         | 総合日本語 2、3 レベル   |
| 成績評価方法       | 前半ポスター発表 30%、後半プロジェクト活動 30%、文化体験 10%、授業参加貢献度 20%、授業外学習度 10%(宿題・調査資料・準備学習等提出)  |
| 授業外における学習方法  | 自分のテーマに沿って、日本の文化・言語の特徴を調べて、自国の文化と比較するため、本やインターネットなどを使った授業外の調査が必要である。  |
| 教科書          | なし  |
| 参考書          | なし(配布資料等)   |
| 受講生に望むこと     | 両国の文化の類似点と相違点を理解し、クラスメイトの意見を聞き意見交換をすることで、日本での生活を考えたり、お互いに共感したりできる場になるとよい。積極的に意見交換をし、クラスが一丸となってプロジェクトを達成させ、研究結果を公開したい。   |
| その他          | 5回欠席でD。意見交換・資料作成・発表時に欠席の場合、減点される。   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | プロジェクトワーク日本語 B  |
| 科目番号         | 3901602   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 金 5   |
| 担当教員         | 関口 美緒   |
| 授業概要         | 各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。  |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日本についてより知るために、身近にある文化・言語変容について日本と母国を比較・分析し、その変化過程や理由を考える。自分の考えを日本語で解りやすく説明する。   |
| 授業の概要・計画     | 初回(1~2回)で文化変容(acclutulation)・言語変容(ピジン・クレオール)など概論を説明し、身近な話題の例を紹介する。前半5回は日本と国の文化変容について考え意見交換し、ポスター(またはPPT)発表する。後半5回は日本と国の言語変容について考える。最後4回で公開発表用のビデオ(ポスター等)を作成し、多くの例を文書にまとめて小冊子を作成したい。 |
| 履修条件         | 総合日本語 2、3 レベル   |
| 成績評価方法       | 前半ポスター発表 20%、後半ビデオ作成 30%、小冊子作成 30%、授業参加貢献度 10%、授業外学習度 10%(宿題・調査資料・準備学習等提出)  |
| 授業外における学習方法  | 自分のテーマに沿って、日本の文化・言語の特徴を調べて、自国の文化と比較するため、本やインターネットなどを使った授業外の調査が必要である。  |
| 教科書          | なし  |
| 参考書          | なし(配布資料等)   |
| 受講生に望むこと     | 両国の文化の類似点と相違点を理解し、クラスメイトの意見を聞き意見交換をすることで、日本での生活を考えたり、お互いに共感したりできる場になるとよい。積極的に意見交換をし、クラスが一丸となってプロジェクトを達成させ、研究結果を公開したい。   |
| その他          | 5回欠席でD。意見交換・資料作成・発表時に欠席の場合、減点される。   |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | Japanese socio-cultural studies (taught in English) A   |
| 科目番号         | 3901612   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 春 ABC 火 5   |
| 担当教員         | ルート ヴァンバーレン   |
| 授業概要         | Get familiar with Japanese society and culture, and deepen your understanding of Japanese language. (日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。) |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>英語で授業。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日本の社会や文化などのさまざまな側面について親しみ、日本語に対する知識を深める。  |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。   |
| 履修条件         | 全レベル(総合日本語1~7)  |
| 成績評価方法       | 授業での参加 30%<br>課題 40%<br>発表 30%  |
| 授業外における学習方法  | 発表に必要な情報収集を行う。<br>課題として英字論文が配布される。  |
| 教科書          | 適宜に配布する。  |
| 参考書          |   |
| 受講生に望むこと     |   |
| その他          | 受講生のニーズに合わせて、授業内容を変更することがある。  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | Japanese socio-cultural studies (taught in English) B   |
| 科目番号         | 3901622   |
| 単位数          | 1.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 火 5   |
| 担当教員         | ルート ヴァンバーレン   |
| 授業概要         | Get familiar with Japanese society and culture, and deepen your understanding of Japanese language. (日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。) |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>英語で授業。  |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 日本の社会や文化などのさまざまな側面について親しみ、日本語に対する知識を深める。  |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。   |
| 履修条件         | 全レベル(総合日本語1~7)  |
| 成績評価方法       | 授業での参加 30%<br>課題達成度 40%<br>テスト 30%  |
| 授業外における学習方法  | 課題として英字論文が配布される。  |
| 教科書          | 適宜に配布する。  |
| 参考書          |   |
| 受講生に望むこと     |   |
| その他          | 受講生のニーズに合わせて、授業内容を変更することがある。  |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業科目名        | 総合日本語 1B  |
| 科目番号         | 3901632   |
| 単位数          | 4.0 単位  |
| 標準履修年次       | 1 年次  |
| 時間割          | 秋 ABC 応談  |
| 担当教員         |   |
| 授業概要         | 初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。   |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>3901202 と同内容。   |
| 授業形態         | 演習  |
| 授業の到達目標及びテーマ | 必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読め   |
| 授業の概要・計画     | 第1週:オリエンテーション『Situational Functional Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、ひらがなの確認<br>第2週～第7週:『Situational Functional Japanese(学内版)』2課～4課、『NEJ vol. 1』2課～4課、カタカナの確認、中間テスト<br>第8週～第15週:『Situational Functional Japanese(学内版)』5課～8課、『NEJ vol. 1』5課～8課、期末テスト、プレゼンテーション |
| 履修条件         | 特別聴講学生(学類生)に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したことがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。   |
| 成績評価方法       | 中間テスト 40%<br>期末テスト 40%<br>日常点 20%   |
| 授業外における学習方法  | 1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。<br>2 マスターテキストに倣った作文を書く。<br>3 各種宿題をする。  |
| 教科書          | 1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』<br>2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)   |
| 参考書          | 1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』   |
| 受講生に望むこと     | 予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。  |
| その他          |   |

|                  |  |
|------------------|--|
| 授業科目名            | Japanese issues(Culture)(taught in English) A                      |
| 科目番号             | 3901662  |
| 単位数              | 1.0 単位   |
| 標準履修年次           | 1 年次   |
| 時間割              | 春 ABC 金 5  |
| 担当教員             | 山本 千波  |
| 授業概要             | Deepen your understanding of Japanese culture.(日本の文化などに対する知識を深める。) |
| 備考               | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>英語で授業。                               |
| 授業形態             | 演習   |
| 授業の到達目標及び<br>テーマ | このクラスでは日本人の心や文化に関する様々なトピックについて読み、話し合う。                             |
| 授業の概要・計画         |  |
| 履修条件             |  |
| 成績評価方法           |  |
| 授業外における学習方<br>法  |  |
| 教科書              |  |
| 参考書              |  |
| 受講生に望むこと         |  |
| その他              |  |



|              |  |
|--------------|--|
| 授業科目名        | Japanese issues(Culture)(taught in English) B                      |
| 科目番号         | 3901672  |
| 単位数          | 1.0 単位   |
| 標準履修年次       | 1 年次   |
| 時間割          | 秋 ABC 金 5  |
| 担当教員         | 山本 千波  |
| 授業概要         | Deepen your understanding of Japanese culture.(日本の文化などに対する知識を深める。) |
| 備考           | 外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。<br>英語で授業。                               |
| 授業形態         | 演習   |
| 授業の到達目標及びテーマ | このクラスでは日本人の心や文化に関する様々なトピックについて読み、話し合う。                             |
| 授業の概要・計画     |  |
| 履修条件         |  |
| 成績評価方法       |  |
| 授業外における学習方法  |  |
| 教科書          |  |
| 参考書          |  |
| 受講生に望むこと     |  |
| その他          |  |